

# おかざき 議会だより

令和8年5月1日発行

vol.  
**232**  
2026

3月  
定例会

- P02 代表質問
- P07 主な議案
- P09 委員会審査
- P11 討論
- P12 審議結果
- P14 委員会調査報告
- P16 6月定例会予定 他

(表紙写真の説明は裏表紙をご覧ください)

更に詳しい情報は  
岡崎市議会HPへ



代表質問の掲載原稿は、発言に基づき質問議員が作成しています。

なお、本紙では、太字の質問項目について掲載しています。より詳しい内容や他の項目については、市議会ホームページで公開している議会映像でご覧いただけます。



## 自民清風会

- ・ **令和8年度当初予算編成**
- ・ 暮らしを支える都市づくり
- ・ 暮らしを守る強靱な都市づくり
- ・ 持続可能な循環型の都市づくり
- ・ 多様な主体が協働・活躍できる社会づくり
- ・ 健康で生きがいをもって活躍できる社会づくり
- ・ 女性や子どもがいいきと輝ける社会づくり
- ・ 誰もが学び活躍できる社会づくり
- ・ 商業と観光が成長産業となる地域経済づくり
- ・ ものづくりが柱でありつづける地域経済づくり
- ・ スマートでスリムな行政運営の確立
- ・ 未来のまちパッケージ
- ・ 未来のひとパッケージ
- ・ **未来のしごとパッケージ**
- ・ 未来のパートナーシップパッケージ
- ・ **市役所の経営方針**
- ・ 市長公約

## 民政クラブ

- ・ **令和8年度当初予算編成**
- ・ **生産年齢人口と労働環境**
- ・ 交通政策
- ・ **第7次総合計画**

## 公明党

- ・ **令和8年度当初予算**
- ・ **改善期待領域への取組**
- ・ 誰一人取り残さない社会の構築
- ・ **持続可能なまちづくり**

## チャレンジ岡崎

- ・ 財政状況
- ・ 基幹業務システムの標準化
- ・ **DXの取組**
- ・ 人件費
- ・ **扶助費**
- ・ **未来投資計画事業**
- ・ 放課後児童対策



## 代表質問とは

- ・ 会派を代表して行う質問のことです。
- ・ 岡崎市議会では、予算の審議や条例案などが多い3月定例会で代表質問を採用しています。





自民清風会

野々山 雄一郎

議会映像はこちら



## 令和8年度当初予算編成・基本方針

**問** 市長としてどのような想いで8年度予算を編成されたか。

**答** 「夢ある新しい岡崎」の実現に向け、厳しい状況下ではあるが、あの時代の市政の結果、今の岡崎があると言われるようなまちづくりに全力で取り組む。将来にわたる持続可能な財政運営を確保するため、市税収入等の歳入規模に見合った歳出予算を基本とし、市税以外の歳入確保も推進する。市制110周年を迎える8年度は財政状況に配慮しながら、ダブルゼロの公約を始めとする政策の充実に向けて、強く歩みを進める時期と考える。その際、最も重要視することは民間の経済活動を誘導することである。民間の経済活動が活発であればあるほど、再生の重要なポイントになると考える。

## 地域内経済の循環の拡大

**問** 観光とビジネスの接点としてホテルの役割は重要と考えるが、ホテル誘致の見通しは。

**答** ホテル誘致は、一人を除く歴代市長の悲願であり、経済界などから度重なる要請を受け、また、岡崎活性化本部から提言を受けたものである。そして、立地適正化計画やQURUWA戦略における都市機能の集積、更には観光とビジネスの融合を図る連結点として、地域内経済を循環させるための起爆剤と期待している。今回のサウンディング結果からバンケット機能は、将来の計画として位置付け、まずは宿泊機能を先行整備し、観光需要の喚起や訪問客の滞在時間増加による消費拡大を図ることを視野に入れていきたい。今後の見通しは、8年5月までに募集要項を公表し、秋から冬には優先交渉権者を決定し、9年春には事業用定期借地権の設定に関わる契約締結を行っていく。

## 市役所の経営方針・成長戦略

**問** 財政状況が厳しいことは理解するが、市民サービス縮小だけでなく、同時に市の成長や市役所経営を考えるべきだが、見解は。

**答** 市政を力強く前進させるためには、人口減少に抗う挑戦、人口減少を補って余りある強靱な経済基盤の構築、時代に即した行政サービスの発展的リサイズの3つの視点が不可欠である。市長が掲げる活発な経済活動を育成、誘導する「稼げる都市」を、また、厳しい財政状況だからといって、単に事業を縮小するのではなく、将来に向けた持続可能性と市民の豊かな暮らしを両立させる未来志向の適正化を進める。人口減少が進む今後は、部単位の個別最適ではなく、市役所全体の最適化を目指す経営方針が必要である。その経営方針に、成長戦略を据え、市長のリーダーシップの下、職員一丸となって未来を切り開くために挑戦する岡崎市を目指す。

## 市役所の経営方針・財政戦略

**問** 今後目指すべき財政運営と来年度に向けた挑戦の方向性は。

**答** 将来の行財政運営の在り方を示した行財政改革大綱では、スマートでスリムな行政運営の確立のため、多様な主体との連携、先進技術の駆使、先を見た選択と縮減、スマート&スリムな人材育成の4つの戦略を設定している。そして、行財政改革推進計画の中間見直しを行い、財政状況の認識と共有を図り、職員に行財政改革の必要性を認識してもらう。予算がないからできないとか、漫然と事業を継続するのではなく、限られた予算や資源の中で効果的な行政資源の配分や、連携や創意工夫により実現できるやり方を考え、あるいは、新たな財源を確保するなど、経営資源をダイナミックに活用できるマネジメント体制の構築を目指し、全庁で目線を合わせ、動ける仕組みを検討する。





民政クラブ

柴田 敏光

議会映像はこちら



### 予算編成に向けた市長の想い

**問** 市制施行110周年に当たり、本市の将来の発展に資する事業の計画は。

**答** 市制110周年記念事業として、観光イベントやコンサート、企画展示などを記念事業に位置付けて実施するほか、市民歌舞伎など、110周年の節目にふさわしい未来につながる事業を行っていく。さらに、令和8年度の特別な事業として、青く光るLEDの球を乙川の川面に浮かべ、幻想的な水辺空間を演出する泰平の祈りを復活させる。そのほか、アニメ映像とアニメソングに花火を組み合わせた新しい形のアニメ音楽フェスも検討しているため、期待して欲しい。



### ふるさと納税

**問** 市税収入を向上させる挽回策として、ふるさと納税の新たな取り組みは。

**答** ふるさと納税については、単価又は数量において、一定以上の規模が見込まれる返礼品の開発や、寄附行動へ誘導するプロモーション力の強化の両面で民間企業、民間人材に力添えしてもらいながら、商工労政課を始め、交流戦略課、東京事務所が一体となって売上増加に向けた調整を進めていく。例えば、本市内には既に民間市場で大きなシェアを有する商品を製造する企業もあるが、そういった企業の顧客構成は、企業相手の商売であるBtoB※1であることが多く、即座にふるさと納税の返礼品とすることは困難である。そこで民間人材からアドバイスを受けながら、サプライチェーンをたどって、ふるさと納税の返礼品、いわゆるBtoC※2として登録依頼をするなど、まずは返礼品の開拓から着手していく。

※1 BtoB……Business to Businessの略で、企業が他の企業を対象に商品やサービスを提供する企業間取引

※2 BtoC……Business to Consumerの略で、企業が一般消費者を対象に商品やサービスを提供する企業対消費者間取引

### 市民病院における良質な公共サービスの実現

**問** 看護助手や介護福祉士等の職員を増員することで、看護師が専門業務に専念でき、負担軽減が図られると考えるが、見解は。

**答** 経営分析の結果では、当院の看護師数は、同規模の病院と比べて相対的に多い一方、看護補助者は少ないことが明らかになった。また、看護業務実態調査においても、看護師の専門性を要しない日常生活援助などの業務負担が大きい病棟があることを確認している。これらを踏まえ、7年度からは、人材派遣により看護補助者を増員するとともに、従来は看護師が行っていた患者移送、おむつ交換、清拭などの業務について、研修を受講した看護補助者が行うことができる制度の整備を進めるなど、看護師のタスク・シフトと看護補助者の業務拡大に取り組んでいる。



### 公共施設等総合管理計画の改定

**問** 公共施設等総合管理計画における課題に対する具体的な取り組みの予定は。

**答** 減らない延べ床面積、早まる人口減少、進む公共施設の老朽化の3点を課題と認識している。改定では、人口推計の見直しに基づく投資可能額や、老朽化状況を踏まえた更新費について再積算を行い、現在の不足額を算出することで、取り組み目標の再検討を行い、類型別で短期目標の見直しを進める。特に、長寿命化対策として、保全工事や大規模改修を実施しているが、老朽化のスピードに対し適切であるか精査し、実現可能な長寿命化対策の方針を再検討し、個別施設計画などに反映していきたい。また、類型別方針における共通記載事項や、類型別記載事項の見直しにおいて、より着実に公共施設マネジメントの取り組みが進むような、具体的な目標設定や、アクションプランの要素が盛り込めないか、検討を進めていく。



公明党

野島 さつき

議会映像はこちら



## 年代別予算の考え方

**問** 高齢者及び子どもに関する経費は、10年間で共に150%程度増加している。人口は、老年人口が増加し年少人口が減少する一方で、予算は共に増加している。これらの現状についての見解は。

**答** 老年人口は増加を続け、間もなく本市の4分の1を占める規模となる。人口規模の大きい年代に対する行政サービスは、一律ではなく本当に困っている人を支援する予算が中心となるが、人口規模が大きいため予算額は増加する。年少人口は今後も減少する見込みであるが、少子化対策の重要性から予算を重点配分し、できるだけ多くの方に支援が行き渡る制度設計が前提となり、予算額は増加する。この傾向は全国的な傾向であると認識している。

## 公共交通

**問** 公共交通の利便性の向上やデマンド交通の可能性についての見解は。

**答** 公共交通の利便性の向上のためには、各交通手段の特徴を生かした上で、定時制や速達性、大量性を確保し、高い頻度で運行する必要がある。交通空白など公共交通機関を利用するのが著しく困難な地域においては、セーフティネットとして暮らしに必要な最低限の移動サービスの確保を図るために、デマンド交通や地域の住民が運転手などを担う共助交通など、地域の実情に応じた少量輸送の導入が必要である。共助交通は、地域の実情に応じた柔軟な運行のほか、地域コミュニティの強化や見守り支援などの効果も期待されるが、運転手の確保が課題となる。その支援策として、市職員が兼業をはじめ、運転手として関われるための制度設計についての研究も必要と考える。

## 稼ぐまちづくり

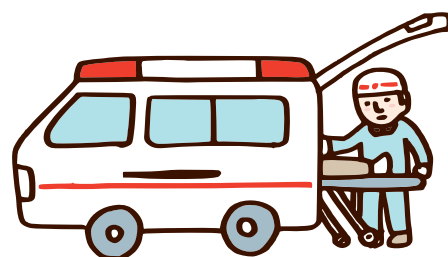
**問** 産業集積や産業基盤強化、民間投資を呼び込む仕組みづくりの考えは。

**答** 現在進めている阿知和地区工業団地に続く工業団地の検討を加速させるため、岡崎市工業用地整備方針の策定を進めている。また、企業立地に関する窓口での相談支援や、市独自の工場等建設奨励金や県と連携した企業再投資促進奨励金制度などを効果的に活用し、市内企業の市外流出を防ぎ、最新設備への更新や市内での事業拡大を支援している。また、東岡崎駅周辺を始めとした主要鉄道駅周辺整備の進捗により、市内外から人や企業を引きつける拠点性の高い都市空間が形成されつつあり、新たな民間投資が生まれ始めている。更なる産業振興につなげるため、産業競争力強化法に基づく創業支援等事業計画を策定し、市内での創業を支援し、稼ぐ主役となる事業者などの人材育成により、産業全体の活性化を図っていく。

## 消防力の維持

**問** 高齢化の進展に伴い、全国的に救急需要は増加しており、本市においても救急出動件数は増加傾向にあるが、現状と課題、その対策は。

**答** 救急事業については、本市と包括連携協定を締結する人間環境大学環境科学部に救急データの解析を依頼したところ、全国と同様に、都市部では高齢化の進行や人口の集中により救急需要は増加傾向にある。また、日中の時間帯に救急出動が重なることから、体制の強化と効率的な運用が課題とされ、その対策として令和8年度から、中消防署本署に毎日勤務の機動救急係を新設し、市全体の救急体制の強化を図っていく。





チャレンジ岡崎

杉山 智騎

議会映像はこちら



### 本市の大黒柱となり得るDX推進の取組

**問** 本市のDXを活用した未来ビジョンについての考え方は。

**答** DXで描く未来は、行政や民間事業者といった主体によって区別されない全ての公共サービスが、切れ目のないシームレスな状況で提供され、それらを市民が手間やストレスを感じずに受けられる社会をビジョンとして描きたいと考えている。そして、10年後、20年後の市民生活はどのように変わるのか、あらゆるデータと技術によって、市民が本市を住みやすく、ずっと暮らし続けたいと感じてもらえるような、そんなウェルビーイング※のために最適化され、本市が選ばれるまちであり続けるために、常に一步先を見据えたビジョンを持って推進に取り組みたいと考えている。

### 財政圧迫の要因の一つとなっている扶助費

**問** 年間3億円前後の増加となっている生活保護費の増加の理由と対策は。

**答** 増加の理由は、被保護世帯、保護人員の増加によるものである。要因は、少子高齢化や核家族化の進展などによる社会構造の変化に加え、昨今の物価高騰などにより、生活保護受給水準の人々の生活が立ち行かなくなったことなどが考えられる。被保護世帯の増加に伴い、令和8年度には、生活福祉課に保護4係を新設し、体制を強化する。更に、ケースワーカーの資質向上のため、厚生労働省が作成した研修教材を活用するなど、各種研修を通じてケースワーク機能を強化していく。今後も引き続き、生活保護受給者に寄り添った伴走支援と、保護の適正実施を両立しながら、必要な対策を講じていく。



※ウェルビーイング……肉体的にも、精神的にも、社会的にも、全てが満たされた状態にあること。

### 本市の健全財政に向けて

**問** 健全財政に向けて未来投資計画事業で配慮すべきことは。

**答** 未来投資計画事業は、ハード整備事業が多く、各事業のピークで予算規模が膨らむ傾向にある。東岡崎駅周辺地区整備事業を例に挙げると、当初予算への負荷を特定財源で補うために、補正予算にて特定目的基金へ積み立て、当初予算で取り崩しを行っている。このような特定目的基金への積み立ては、必要な事業の安定的な推進には有効だが、事業が重なると、財政調整基金を含めた他の基金への計画的な積み立てができなくなる恐れもある。各事業の計画や進捗、各基金の残高を踏まえつつ、健全な財政運営が持続できるよう配慮しながら基金への積み立てを行っているが、計画的な積み立てとのバランスにも配慮する必要があり、事業費のピークが重ならないようコントロールし、健全な財政運営が持続できるようにする。

### 阿知和地区工業団地造成事業の将来への展望

**問** 阿知和地区工業団地造成事業の本市にとっての事業効果は。

**答** 本事業は、造成して分譲するという収支では赤字となるが、進出企業により税収の増や産業振興といった将来にわたってのストック効果が得られ、投資分を回収できると考えている。試算によると、雇用としては約4,400人を見込み、税収としては固定資産税、都市計画税、事業所税、法人市民税、個人市民税などにより、11年度は約12億円を見込んでいる。ただし、固定資産税と事業所税は納付した年度の翌年度に、前年度の納付実績額に対し奨励する制度があり、固定資産税は3年間で約8億7千万円、事業所税は5年間で約5億円、奨励金を歳出予算から支払う。しかしその後は、恒久的に税収が見込める未来への投資事業だと考えている。

# 主な議案

本会議で提出された議案の説明を受けました。  
審議結果は、12・13ページに掲載しています。

## 条例議案

- 地域交流センター条例の一部改正**／地域交流センターの指定管理者がより効果的かつ効率的なサービスを提供することができるようにするため、施設の利用に係る料金を指定管理者の収入として収受させる。
- 竜美丘会館条例の廃止**／施設の老朽化及び文化施設の規模の適正化のため、竜美丘会館を廃止する。
- アジア・アジアパラ競技大会の開催に伴う中央総合公園スポーツ施設の管理の特例に関する条例の制定**／アジア・アジアパラ競技大会の準備及び開催に係る期間における中央総合公園スポーツ施設の適正な管理を行うため、その特例を定める。
- 国民健康保険条例の一部改正**／国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、保険料の納付義務者に対する賦課額として合算する額に子ども・子育て支援納付金賦課額を追加し、及び保険料の基礎賦課限度額を引き上げるとともに、保険料の軽減対象を拡大し、保険料賦課の適正化を図る等する。
- 食文化の継承及び振興に関する条例の制定**／先人から受け継いだ岡崎の食文化を次世代に引き継ぐため、その継承及び振興に関し、市、市民、事業者等の役割を定める。
- 保育所条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等を定める条例の一部改正**／市の公立保育所において乳児等通園支援事業を実施するに当たり、その利

用料を定める等する。

- 下水道条例の一部改正**／災害その他非常の場合における排水設備の早期復旧のため、他の市町村長等が指定した者が排水設備等の工事を行うことができるよう規定を改めるとともに、持続可能な下水道事業の経営を確保するため、公共下水道使用料の額を改める。

## その他議案

- 特定事業の契約の変更（龍北総合運動場整備事業の契約他6件）**／龍北総合運動場整備事業の契約、げんき館整備運営事業の契約、火葬場整備運営事業の契約、こども発達センター等整備運営事業の契約、西部学校給食センター整備事業の契約、市立小中学校空調設備整備事業の契約、阿知和地区工業団地造成事業の契約を変更する。

## 予算議案

### 令和7年度補正予算

#### ■一般会計補正予算（第11号）

- 総務費**／職員給与費等、財政調整基金積立金、公共施設保全整備基金積立金など約31億8,049万円の増
- 土木費**／南公園施設購入費、中央総合公園整備工事請負費など約6億5,731万円の減
- 教育費**／小学校施設保全工事請負費、中学校校舎等特別整備工事請負費、中学校屋内運動場改修工事請負費など約37億6,220万円の増

### 令和7年度3月補正予算

	補正前	補正額	補正後
一般会計	1,625億4,381万円	53億6,293万円	1,679億 674万円
特別会計	755億8,403万円	1億1,180万円	756億9,583万円
企業会計	671億3,339万円	△ 9億 751万円	662億2,588万円
合計	3,052億6,123万円	45億6,722万円	3,098億2,845万円

■令和8年度当初予算

8年度当初予算は、第7次総合計画の将来都市像を踏まえ、「夢ある新しい岡崎」の実現に向け、少子高齢化を始めとする社会課題に対応する基本施策にしっかりと取り組むとともに、着手済みの計画事業である工業団地造成及び関連道路整備事業、アウトレットを核としたまちづくり事業、東岡崎駅第2期整備事業、南公園整備事業に加え、ゼロカーボンシティの実現や行政のデジタル化の推進といった社会環境の変化にも的確に対応していくための予算を計上し

た。

一般会計は1,548億5千万円、特別会計は約818億1,236万円、企業会計は約680億9,040万円で、総額は約3,047億5,276万円となり、7年度当初予算に対して4.0%の増となった。

■令和8年度補正予算

■一般会計補正予算（第1号）

○衛生費／水道事業会計補助金、次世代自動車購入費補助金、脱炭素投資促進事業費補助金に対し約10億4,497万円の増

令和8年度当初予算・補正予算

	予算額	前年度対比	補正額	補正後
一般会計	1,548億5,000万円	100.8%	11億533万円	1,559億5,533万円
特別会計	818億1,236万円	110.8%	0円	818億1,236万円
企業会計	680億9,040万円	103.8%	178万円	680億9,218万円
合計	3,047億5,276万円	104.0%	11億711万円	3,058億5,987万円

～議会を傍聴してみませんか～

本会議や委員会は一般に公開されており、受付で住所、氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。また、事前の予約も必要ありません。お気軽にお越しください。

※傍聴席へは、市役所西駐車場などから3階連絡通路を利用し、議会傍聴専用入り口（市役所西庁舎3階）へお越しください。

障がいのある方の傍聴について

障がいのある方にも傍聴しやすい環境を整えていますので、ぜひご利用ください。

- ・車椅子スペースの設置
- ・手話通訳／要約筆記※
- ・ヒアリングループ（磁気誘導ループ）設置※
- ・点字資料の提供※

※ご利用に当たっては傍聴予定日の1週間前までにご予約ください。

本会議傍聴時の託児について

本会議傍聴時の託児サービスを実施しています。傍聴予定日2日前の16時までにご予約ください。



（傍聴に関するお問い合わせ先 議会事務局総務課 ☎23-6382 FAX23-6538）

▶ スマホで議会だより「マチイロ」

ご利用のスマートフォンやタブレット端末にアプリを登録すれば、最新の議会だよりが配信されます。



<登録方法>

左のコードを読み取っていただくか、App Store、Google playから無料アプリ「マチイロ」をダウンロードしてください。

# 委員会審査

常任委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。  
主な内容は次のとおりです。

## 総務企画委員会

### 地域交流センター条例の一部改正

**問** 改正の内容は。

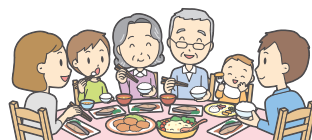
**答** 指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくし、より効果的かつ効率的な市民サービスを提供するため、令和9年4月1日から利用料金制を導入し、施設の利用料金を指定管理者の収入とするための改正を行うものである。条例において使用料の上限額を定めており、指定管理者は、その範囲内において料金を設定し、あらかじめ市長の承認を得ることが必要となるため、市が料金の妥当性や公平性を審査し、公益性を担保する。利用料金制の導入後もこれまでどおり、市民活動団体は一般利用の場合の半額の料金での利用が可能である。

## 福祉病院委員会

### 食文化の継承及び振興に関する条例の制定

**問** 条例制定に伴い作成予定の行動計画のスケジュールと内容は。

**答** 8年度にはアクションプランを作成して、関係各課と協議をしていく。市内の各家庭や各地域では、それぞれ特色のある食文化が受け継がれているため、食文化と親和性の高い祭りや伝統行事、慣習などを地域の大切な資産として再認識し、未来を担う子どもや若者に伝えていくことが必要と考えている。地域などで受け継がれてきた岡崎の食文化に関する情報を調査収集し、その魅力や価値を子どもや若者をはじめとする幅広い市民や地域内外に発信する取り組みを行っていく。



## 文教経済委員会

### 竜美丘会館条例の廃止

**問** 廃止を決定したプロセスと今後のスケジュールは。

**答** 7年6月議会において、老朽化などの理由から廃止も視野に検討していると答弁した。そこから関係課と協議を行い、財政面などから、すぐに改修することは不可能と判断し、まずは安全確保の観点から、8年12月末をもって利用停止を決定した。この間にも検討を行い、公共施設の規模の適正化、30億円以上と見込まれる改修費を支出することの投資効果、また、他の施設への代替がおおよそ可能という試算が出たことから、廃止を決断した。廃止後のスケジュールは、今後、関係各課、事業者等との検討結果を踏まえ、速やかに土地、建物の活用を考えていく。

## 建設環境委員会

### 下水道条例の一部改正

**問** 下水道使用料の改定が必要となった経緯は。

**答** 下水道使用料は4年ごとに水道事業及び下水道事業審議会に諮問し、適正化を図っている。4年度以降、物価が上昇し、特に県の流域下水道維持管理費負担金の単価が21.34%増額改定され、年当たり約2億5千万円の支出が増えている。5年度には、経費回収率が100%を下回り、必要な経費を使用料収入で賄えていない状況になり、6年度決算では、企業会計移行直後の平成24年度以来12年ぶりの赤字決算となった。このような状況は、今後も継続すると見込まれ、令和11年度には、資金不足に陥る恐れがあると試算され、使用料改定が不可欠であると判断したものである。

## 予算決算委員会

### 総務企画分科会

令和8年度一般会計予算 総務費

**問** 総合コンタクトセンター導入における取り組みの内容とリニューアルした市ホームページとの関連性は。

**答** 総合コンタクトセンターは、市民からの電話やメール、ホームページからの問い合わせへの1次対応窓口となるもので、一般的な質問に対して速やかに回答できる体制を整え、9年3月頃に運用開始の予定である。3月10日の市ホームページのリニューアルとともに公開した岡崎市ヘルプポータルなどから蓄積されたデータを一元管理する統合ナレッジマネジメントシステムを用いて回答する。今後は、問い合わせや回答を蓄積、分析し、内容を更に充実させていく。

### 福祉病院分科会

8年度一般会計予算 衛生費

**問** RS予防接種の定期接種化の背景と、その対象者及び費用は。

**答** RSウイルスワクチンは、妊婦への接種により抗体が胎児に移行し、感染を予防するもので、肺炎などの感染症に対して有効性が認められ、6年1月に薬事承認された。また、国の審議会において、現時点では生まれてくる子どもに対する安全性について重大な懸念は認められないと評価されており、8年度から定期接種として実施することとなった。対象者は、接種日に妊娠28週0日から36週6日までの妊婦としている。また、費用は、RS予防接種が予防接種法上、接種の努力義務があるA類疾病に位置づけられており、全額が公費負担となる。

### 文教経済分科会

8年度一般会計予算 教育費

**問** 福岡中学校のテニスコートにおける夜間照明設備設置工事の概要は。

**答** 地域ブロック部活動への移行に伴い、平日の部活動の開始が夕方以降となるが、現状、中学校のテニスコートには夜間照明設備がない。中央総合公園や龍北総合運動場を活用した練習も行われているが、南西方面のブロックチームに所属する生徒にとっては、移動が難しい状況である。そのため、南方面のソフトテニス部の拠点校である福岡中学校のテニスコートに照明設備を整備するものである。また、学校活動と部活動での利用を最優先とするが、施設の有効利用を図るため、設置完了後、一般利用についても検討していく。

### 建設環境分科会

8年度一般会計予算 衛生費

**問** 岡崎産再エネ電気を普及させることによる利点は。

**答** 岡崎産再エネ電気は、市域の再生可能エネルギー由来の電気を供給するものである。市域で作られた再生可能エネルギーを市域内で消費することで、需給バランスが保たれ、再生可能エネルギーが不足した際に高額な電気を調達しなければならないといったリスクの軽減にもつながる。補助金を活用した市域での再生可能エネルギー設備の整備は、岡崎市脱炭素関連事業者登録制度に基づき、施工事業者を県内に限定しており、地域経済に好循環をもたらすほか、大規模災害時に必要な電源を地域内に多く確保することができるメリットがあり、地域のレジリエンス強化にもつながる。

## 8年度一般会計予算

### 自民清風会

「阿知和地区工業団地の造成完了に向けた整備や、東岡崎駅周辺の再開発事業といった、将来の税収確保に直結する稼げる都市への基盤づくりについて、特定財源を積極的に確保しながら力強く推進している。また、稼ぐという観点から、組織改編による交流戦略課の新設と、それに伴う東京事務所の機能強化は、本市が単なる行政運営の枠を超え、戦略的な都市経営へとかじを切る強い意志の表れであると高く評価する。人口減少という構造的課題に対し、内向きの縮減に終始するのではなく、外部の活力を積極的に取り込み、地域経済の好循環を生み出そうとする姿勢は、国が旗頭に掲げている責任ある積極財政の潮流と方向性を同じにするものである」と意見を述べ、**賛成**した。

### 民政クラブ

「シティプロモーション推進業務や首都圏活動推進業務、QURUWA地区ホテル誘致推進業務など、今後の本市における対外的な魅力を向上させる重要な業務が予算計上されている。東京での交流を最大限発揮し、国が目指す方向性など鮮度の高い情報を素早く察知して魅力ある本市を作り上げる戦略を練ることはもちろんのこと、観光伝道師の力を最大限活用して、本市の魅力をより多く発信し、本市を飛躍的に成長させてほしい」と意見を述べ、**賛成**した。

### 公明党

「子ども食堂等運営費支援金は、寄附金を活用し、活動を継続的に支援するものである。支援基準は事務負担に配慮し、開催頻度で設定しているが、参加人数によるコストの増加の実態もある。現場の負担を考慮しつつ、より実態に即した基準の在り方について、検討が必要と考える。将来にわたって子ども食堂が円滑に運営できる安定的な支援を希望する」と意見を述べ、**賛成**した。

### チャレンジ岡崎

「暮らしを支える都市づくりの核となる、阿知

※プレコンセプションケア…若い男女が将来のライフプランを考えながら、日々の生活や健康と向き合うこと。

和地区工業団地造成事業などの大型プロジェクトが重なり、投資的経費は前年度から約19億5千万円増加している。これらの事業は、将来の税収増と雇用の創出に直結する極めて重要な施策である。本市の経済を牽引する基盤として、計画通り着実に推進していくことを強く要望する」と意見を述べ、**賛成**した。

### 無所属・日本共産党岡崎市議団

「財政調整基金の取り崩しは、令和7年度と同じ35億円となっている。様々な市民サービスをカットして、基金を約105億円まで戻しており、来年度の取り崩しは、40億円としても残高は100億円を切ることはないと予想される。あと5億円を施策に反映すれば、削減した様々な補助金を復活させるのに十分な余力があると考える」と意見を述べ、**反対**した。

### 無所属・参政党

「妊産婦・乳幼児保健指導業務について、不妊症対策として根本的な体質改善も重要な取り組みである。現在、市はプレコンセプションケア※を進めているが、若い頃から正しい知識を得て健康的な生活を送ることが、将来の健やかな妊娠や出産につながり、未来の子どもの健康の可能性を広げる」と意見を述べ、**賛成**した。

### 無所属・大原昌幸

「生活保護支給業務に54億5,291万円が計上されており、このうち外国人への支給分も含まれている。2014年には最高裁判所にて生活保護法が外国人に適用されないことが示されていることから、外国人への支給を取りやめべきと考える」と意見を述べ、**反対**した。

### 無所属・本多勝

「教育費の小学校給食費の完全無償化は、本予算の中でも特に大きな前進である。中学校給食の無償化継続や値上げ分の市費負担据え置きと合わせ、物価高に直面する子育て世帯の家計を直接支える、まさに待ったなしの施策である」と意見を述べ、**賛成**した。

# 審議結果

3月定例会

件名	採決等の結果	
<b>市長提出議案</b>		
承1 令和7年度一般会計補正予算の専決処分	承認(全員)	
市1 包括外部監査契約	可決(全員)	
市2 特定事業の契約の変更(龍北総合運動場整備事業)		
市3 特定事業の契約の変更(げんき館整備運営事業)		
市4 特定事業の契約の変更(火葬場整備運営事業)		
市5 工事請負の契約(福岡南保育園大規模改修工事(週休2日))		
市6 特定事業の契約の変更(こども発達センター等整備運営事業)		
市7 市道路線の廃止		
市8 市道路線の認定		
市9 工事請負に関する契約(一般国道1号への都市計画道路岡崎環状線事業に伴う岡崎地区交差点改良工事(仮称)の委託)		
市10 財産の無償貸付け及び減額貸付けの変更(岡崎駅西口自転車等駐車場用地活用事業に係る施設の用地)		
市11 財産の無償貸付け及び減額貸付けの変更(東岡崎駅周辺地区整備北東街区有効活用事業用地(その1))		
市12 財産の無償貸付け及び減額貸付けの変更(東岡崎駅周辺地区整備北東街区有効活用事業用地(その2))		
市13 工事請負に関する契約の変更(名鉄名古屋本線東岡崎駅の交通施設整備事業(第2期分)に関する工事の委託)		
市14 財産の交換		
市15 和解及び損害賠償の額を定めること		
市16 特定事業の契約の変更(西部学校給食センター整備事業)		
市17 特定事業の契約の変更(市立小中学校空調設備整備事業)		
市18 手数料条例の一部改正		
市19 附属機関設置条例の一部改正		
市20 債権の管理に関する条例の一部改正		
市21 行政手続条例の一部改正		
市22 職員定数条例の一部改正		
市23 職員の給与に関する条例等の一部改正		
市24 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正		
市25 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正		
市26 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正		
市27 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正		可決(多数)
市28 地域交流センター条例の一部改正		可決(全員)
市29 町及び字の新設に伴う関係条例の整理に関する条例の制定		
市30 印鑑登録条例の一部改正		
市31 竜美丘会館条例の廃止		可決(多数)

件名	採決等の結果	
市32 アジア・アジアパラ競技大会の開催に伴う中央総合公園スポーツ施設の管理の特例に関する条例の制定	可決(全員)	
市33 介護保険条例の一部改正	可決(多数)	
市34 国民健康保険条例の一部改正		
市35 食文化の継承及び振興に関する条例の制定		
市36 保育所条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等を定める条例の一部改正		
市37 火災予防条例の一部改正		
市38 水道事業給水条例の一部改正		
市39 下水道条例の一部改正		
市40 衛生設備資金貸付条例の一部改正		
市41 水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正		
市42 農業集落排水処理施設条例の一部改正		
市43 令和7年度一般会計補正予算(第11号)	可決(全員)	
市44 令和7年度阿知和地区工業団地造成事業特別会計補正予算(第3号)		
市45 令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)		
市46 令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)		
市47 令和7年度介護保険特別会計補正予算(第4号)		
市48 令和7年度継続契約集合支払特別会計補正予算(第2号)		
市49 令和7年度こども発達医療センター特別会計補正予算(第3号)		
市50 令和7年度岡崎駅東土地区画整理事業清算金特別会計補正予算(第1号)		
市51 令和7年度宮崎財産区特別会計補正予算(第2号)		
市52 令和7年度形埜財産区特別会計補正予算(第2号)		
市53 令和7年度病院事業会計補正予算(第3号)		
市54 令和7年度水道事業会計補正予算(第3号)		
市55 令和7年度下水道事業会計補正予算(第4号)		
市56 令和8年度一般会計予算		可決(多数)
市57 令和8年度阿知和地区工業団地造成事業特別会計予算		
市58 令和8年度国民健康保険事業特別会計予算		
市59 令和8年度後期高齢者医療特別会計予算		
市60 令和8年度介護保険特別会計予算		
市61 令和8年度継続契約集合支払特別会計予算		
市62 令和8年度額田北部診療所特別会計予算		
市63 令和8年度こども発達医療センター特別会計予算		
市64 令和8年度岡崎駅東土地区画整理事業清算金特別会計予算	可決(全員)	
市65 令和8年度母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算		
市66 令和8年度宮崎財産区特別会計予算		



# 委員会調査報告

(12月定例会終了後～2月)

現在、市議会では5つの常任委員会と2つの特別委員会、議会運営委員会、議会広報委員会を設置しています。

予算決算委員会を除く常任委員会では、閉会中も所管事項に関する調査、市内外への行政視察調査を行っています。今回は、各常任委員会の調査事項をお知らせします。視察調査報告書の詳細は、市議会ホームページに掲載していますのでご覧ください。



## 総務企画委員会

1月22日 防災の取組 【渋谷区】

### 調査内容

渋谷区では、防災の3助を基本軸として、多様な防災対策を実施している。特に渋谷防災キャラバンは地域参加型の取り組みで非常に規模の大きいものであり、小学生が学校や地域で学んだことをキャラバンで発表するなど、世代を超えた自主的な取り組みにまで発展している。それらの具体的な取り組みについて調査を行った。

### 委員長所感

地域と学校が連携した地域参加型の防災訓練であり、地区全体の防災意識向上にとっても効果のある取り組みだと感じた。また、防災システム・アプリ・ポータルサイトの連携により、区民だけでなく来街者にも役に立ち、有事の際、帰宅困難者の命を守るツールとなっている。本市も防災には取り組んでいるが、まだまだ道半ばで、ツールも一元化されていない。自助、共助の重要性を市民一人ひとりが認識できるように、繰り返し取り組まれない。



### その他の調査事項

1月23日 「メタまーつ」について 【松戸市】

## 福祉病院委員会

1月20日 認知症予防施策 【横須賀市】

### 調査内容

横須賀市では、全国に先駆け生成AIを導入し、DX推進をしている。生成AIによる認知症予防の音声会話サービスや、ビッグデータ解析による個別保健指導など、DX推進による市民の健康維持や孤独解消に向けた具体的な取り組みについて調査を行った。

### 委員長所感

AIは、100点満点の回答は出せないが、AI(80点)と人間の視点(20点)を組み合わせることで課題は解決できる。福祉や子育ての「傾聴」など、100%の正解が必須でない業務には直ちに活用すべきと考える。横須賀市の「認知症予防AI」のように、人間相手なら遠慮してしまうことにもAIなら文句を言わず会話を続けることが可能となる。福祉は自治体業務の根幹だからこそ、本市においてもAI活用の実施を強く要望する。



### その他の調査事項

1月21日 新たな介護予防の取組の活用

【静岡市】

特別委員会	
市民病院のあり方検討	
1月14日	委員会の今後の取組
1月26日	1 地域医療における市民病院の役割と経営状況 2 委員会の調査事項
2月10日	1 地域医療構想及び医療計画における市民病院の位置付け 2 委員会の調査事項
ハラスメント対策調査検討	
1月15日	委員会の今後の取組
2月9日	県カスタマーハラスメント防止条例の内容を含めた県のハラスメントに対する取組（愛知県視察）

議会運営委員会	
2月17日	3月定例会の運営
2月27日	3月定例会の追加提出議案

議会広報委員会	
12月23日	1 市議会ホームページの見直し 2 議会報コンクールに出品する議会だより 3 議会だよりのレイアウト変更案
1月6日	1 議会だより231号の発行 2 意見交換会の開催 3 市議会ホームページの見直し
1月13日	1 市議会ホームページのアイコンのデザイン案 2 議会だよりの表紙写真等の公募

## 文教経済委員会

### 1月22日 まちだの中学校給食センター計画 【町田市】

#### 調査内容

町田市では、「食を通じた地域みんなの健康づくり拠点」を施設のコンセプトとし、市内3カ所に新たな給食センターを整備した。また、これらの施設が、地域に根差し活躍するために、PFI手法（BTO方式）やリース方式を取り入れたことで、カフェを併設し、給食ランチを提供するなど、創意工夫あふれる魅力的な事業を表現している。その取り組みについて調査を行った。

#### 委員長所感

給食の問題は、単に施設の更新にとどまらず、制度設計、運営体制、そして将来のまちづくりと一体で考える必要があるため、中学校給食の方向性を明確にした上で、給食センターの更新や再編について、中長期的な視点で検討を進めることが重要である。また、将来の生徒数減少を見据え、過大な設備投資を避け、将来世代への負担を抑える考え方は、人口減少社会における公共施設整備の一つのモデルであると感じた。



#### その他の調査事項

1月23日 スポーツツーリズム 【仙台市】

## 建設環境委員会

### 1月20日 広域ごみ処理施設、第五工場及び第六工場 【東大阪都市清掃施設組合】

#### 調査内容

東大阪都市清掃施設組合は、東大阪市と大東市を構成市とする一部事務組合であり、ごみ処理施設の設置及び管理に関する事務を処理している。平成29年に竣工した第五工場と、令和13年に竣工予定の第六工場の取り組みについて調査を行った。

#### 委員長所感

大型ごみ処理施設の現在の課題は、リチウムイオン電池による火災事故であった。本市においても同じ問題を抱えているが、住民への丁寧な周知しかないとのことだった。今後の展開としては、プラスチック回収から処理までの検討が必要になってくる。現在、構成市同士で検討はしているが、まずはプラスチック回収品のストックヤードの確保が課題となっていた。本市の広域ごみ処理施設においても、計画の段階からプラスチックの収集及び再商品化を検討し、施設として完備する必要があると考える。



#### その他の調査事項

1月21日 上下水道アプリ「すいりん」【堺市】

# 6月定例会予定

6月定例会の  
 請願・陳情提出締め切りは、

**5月18日(月)**  
**17時15分**

です。

月	火	水	木	金	土	日
6/1 開会、 市長提案説明、 議案説明、 一般質問	2 一般質問	3 一般質問	4 一般質問	5 議案質疑、 委員会付託 予算決算委員会	6	7
8	9	10	11 予算決算委員会 分科会・ 常任委員会	12 予算決算委員会 分科会・ 常任委員会	13	14
議案検討						
15	16	17 予算決算委員会	18 議会運営委員会	19	20	21
22 委員長報告、 質疑、討論、 採決、閉会	23	24	25	26	27	28

○各会議の開催時刻は午前10時の予定ですが、予算決算委員会分科会・常任委員会の開催時刻は午前9時30分の予定（開催順序などは5月20日に決定）です。

## 6月定例会の日程について

上記の議会日程は予定であり、今後変更する場合があります。  
 変更する場合は、岡崎市議会ホームページでお知らせいたします。

## 議会中継について

議会中継は、右の二次元コードからインターネットでご視聴いただけます。



## 請願と陳情

市政について意見や要望のあるときは、請願書や陳情書を市議会に提出することができます。

請願は市議会議員の紹介を必要としますが、陳情の場合はその必要がありません。

市議会では、請願については委員会で審査した後、本会議で採択か不採択を決定し、その結果を請願者（代表者）に通知します。採択した請願は、必要と認めた場合、執行機関ほか関係機関に処理の経過と結果の報告を求めます。

一方、陳情は委員会で意見を述べるだけで、本会議に報告した後、関係機関に意見を付して送付します。また、審査結果を陳情者（代表者）に通知します。

## 請願（陳情）書式例

○○○に関する請願書 (陳情書)	令和 年 月 日
	(宛先) 岡崎市議会議長 ○ ○ ○ ○
	住 所 代表者氏名
	○○○に関する請願(陳情)
(請願書のみ) 紹介議員 岡崎市議会議員 氏名	1 要旨 何々であるので 何々してください
	2 理由 .....



## 表紙の写真



青空の下、乙川で水辺の魅力を体感する「#QURUWAと暮らす2026」が開催されました。水上自転車やバルーンを楽しむ親子の姿が水面を彩り、会場は活気に包まれています。大人も子どもも一緒になって岡崎自慢の川遊びを満喫する、笑顔いっぱいの休日となりました。

## 会派等の連絡先

自 民 清 風 会	☎23-6390	
民 政 ク ラ ブ	☎23-6394	
公 明 党	☎23-6396	
チ ャ レ ン ジ 岡 崎	☎23-6364	
無 所 属	日 本 共 産 党	☎23-6397
	参 政 党	☎23-6524
	無 所 属	☎23-6524
議 会 事 務 局	☎23-6377	

議会の日程、請願・陳情などに関する事項は、議事課（☎23-6381・FAX23-6538）までお問い合わせください。